

体験内容

- ・地域の料理文化や調理方法を知り、地方への関心・理解を深める
- ・調理を実践し、食の大切さ、苦勞を学ぶ
- ・地域（山村）の人たちとの交流を通し、コミュニケーション能力が高まる

SDGs



体験情報

所要時間：1～2時間

期間：通年

最大人数：10～20人

雨天時等：影響なし（室内での体験）

準備物：エプロン、三角巾、タオル

事業者（インストラクター）：生活研究グループ

（中津支部）龍田 江美

（美山支部）西川 峯子

プログラム

1. こんにゃく芋や調理内容の説明
2. 講師が作業手本を見せる
3. それぞれ実践（こんにゃくを丸める行程まで）
4. こんにゃくを茹でる間に試食
5. 茹で上がり（完成）を見学